

編集後記

サイバーサイエンスセンターでは、東北地区の大学を訪問し本センターの講習会を開催させて頂く…という取り組みを行っております。今年は、2月に弘前大学、6月に秋田大学にお邪魔して、本センターの大規模科学計算システム等に関する講習会を開催しました。どちらの大学でも、共催の総合情報処理センターの実習室・端末室をお借りし、リモートログインにより東北大学のスパコンへジョブを投入するという体験利用の実習も実施しました。参加者の皆様には、実感としてスパコンの雰囲気を感じてもらえることができ、好評だったようです。ただ、ご存知のように、本センターのSX-9の利用率は日常的に極めて高く、体験利用の実習中もしばしばジョブが待たされ（キューにたまり）ました。まあそれはそれでリアルな体験であり、本センターのスパコンが大いに活用されていることを示せたのかもしれませんが（言い訳がましい?）。

この講習会の開催にあたっては、東北学術研究インターネットコミュニティ (TOPIC) のヒューマンネットワークを（勝手に）活用しました。TOPICは、東北地区において学術研究・教育活動を支援するコンピュータネットワーク環境の発展に貢献するコミュニティであり、日頃顔を合わせる機会の多いTOPIC幹事の方々にお願いして、このような講習会をスムーズに実現することができました。

東北地区の大学等において本センターの講習会の希望がございましたら、（夜の交流会の企画とともに?）ご一報いただけますと幸いです。(TM)

新並列コンピュータ Express5800 は運用を開始してから2ヶ月が経ちました。この間、障害無く稼動しています。以前の並列コンピュータに比べて演算性能は若干高くなっております。実行してみると gaussian では演算性能が2倍UPしているものもあります。利用者の方の実感はいかがでしょう。

今月号には、理学研究科の川村先生からの投稿記事が掲載されております。その内容は、20年分の衛星データを新並列コンピュータにより解析するというものです。川村先生は本センターが片平地区にあったときからの20年来の利用者であり、これまでにセンターで導入した計算機を使用して衛星データの可視化、データの媒体変換、高速データ転送、大容量ファイル利用等について先進的な取り組みをされてきました。

新並列コンピュータの導入が利用者の方々の研究の促進および発展に結びついただければ、センター職員にとっては励みとなります。(EI)

SENAC 編集部会



サイバーサイエンスセンター前
整備中の青葉山新キャンパス

小林広明 曾根秀昭 水木敬明 後藤英昭
江川隆輔 伊藤英一 山内 斎 小野 敏
高橋洋一 斉藤くみ子

平成 22 年 7 月 発行
編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
郵便番号 980-8578
印刷 大成印刷株式会社